

## 2020 年度中国活動報告

期 間：2020 年 12 月 11 日

場 所：上海市

参加者：小久保 謙一（国際委員会）、徳田 勝哉（国際委員会）、桜沢 貴俊（国際委員会）、叶 明（国際委員会）、古平 聡（北里大学医療衛生学部）

上海で行われた 2020 上海国際血液透析会議（共同開催）上海市医院協会血液浄化管理専門委員会第 2 回学術年会において、日本の感染対策の現状についての共同セッションを開催したいとの依頼があり、セッションの企画、講師の派遣を行った。

今回の学術集会は、オンライン+リアル併用開催であり、リアル参加は約 600 名、オンライン参加は約 5000 名とのことであった。また日本との共催セッション以外には、アメリカ KDIGO との共催セッションもあった。

日本血液浄化技術学会との共同開催セッションにおいては、古平聡先生が感染対策のための病院設備に関する講演、徳田勝哉委員が透析患者の感染対策に関する講演、桜沢貴俊委員が日本の透析施設での COVID-19 透析患者の受け入れに関する講演を行った。

看護師、エンジニアの参加が多い学会であることから、事前に講演スライドを中国語に翻訳し、発表には中国語の逐次通訳を付けた動画を作成し、あらかじめ送付した。当日は、それを現地でリアルタイムで配信していただき、その後、Zoom ミーティングを介して、質疑応答をオンラインで実施した。

今回、日本において、COVID-19 の感染が収まらない状況下であったため、残念ながら現地への参加はできなかったが、打ち合わせ、本番のいずれも Zoom を使って、情報交換できた。新しい形の学术交流が可能であることが分かったことは収穫であった。また、感染対策が日本で実際にどのように行われているかについて、中国の透析関連の医療従事者にとっても、関心も高いと感じることができたことも、よかったと考えている。

